

## 第7回 インディペンデンスリーグ東北2017 開催要項

1. 大会名称 : 第7回インディペンデンスリーグ東北2017
2. 主催 : (公財)日本サッカー協会 (一財)全日本大学サッカー連盟 (一社)東北サッカー協会  
東北地区大学サッカー連盟
3. 主管 : 東北地区大学サッカー連盟
4. 協賛 : 株式会社ミカサ
5. 期間 : 前期;平成29年5月21日(日) ~ 7月23日(日) ※予備日;7月末~8月  
後期;平成29年9月17日(土) ~ 10月29日(日) ※予備日;11月3日
6. 会場 : 青森県>> 八戸市南郷区陸上競技場  
岩手県>> 富士大学人工芝サッカー場、岩手フットボールセンターほか  
宮城県>> みやぎ生協めぐみ野サッカー場(宮城県サッカー場)、仙台大学サッカー場

### 7. 大会の位置付け

東北地区大学サッカー連盟に加盟の全チームの中で、「Iリーグ」設立主旨を遵守し、参加条件を満たし、かつ参加意志の確認出来たチームにより編成。

この大会は日頃、大学を代表して試合に出場する機会の少ない選手に公式戦出場の機会を提供することを主とする。それに伴い、学生自らが審判や大会運営に関わることによりサッカーマインドを育み、それぞれのサッカー人生に成果として生かされることを期待して開催する。これらの活動を通じて東北学生サッカー界の総合的な発展を計ることを目的とする。

例年参加チーム数の参加状況を踏まえて日程等調整し、組合せを決定しているが6年間同大学での大会であり今後の他チームの活動に期待する。

今大会で第7回を迎えるが、各試合前日の総理杯予選・リーグ戦において45分以上出場した選手は出場不可とし、出場可能選手の規定を設け、より出場時間の短い選手の育成強化を図る。

\* 参加チーム 10チーム

仙台大学 A2、仙台大学 FC、FC SENDAI、Tohoku FC、八戸学院大学 FC、  
富士大学 U-22、東北学院大学 FC、東北学院大学 SC、TGNEXTFC(学院大)、仙台大学 b2

### 8. 大会参加資格

本大会出場チーム資格チームは、(財)日本サッカー協会並びに全日本大学サッカー連盟、東北地区大学サッカー連盟に登録されている単独の大学の学生を以って構成されたチームであって、次の資格を有するチームに限る。

- 1) 本年度の加盟登録手続(JFA 個人登録及びチーム登録)を完了し、学連加盟等全ての諸手続と費用が納入済みのチームに限る。

【大会直前に JFA・JUFA 登録した選手については、[各試合 2 日前までに諸手続を完了\(事務局に必要書類をデータ送信\)](#)し、選手証到着前にメンバー入りする場合には登録したと証明出来る物を提出([学連登録資料控え](#))し、主管または事務局で承認得ることが出来た選手は試合出場可能とする】

- 2) **今年度各チームのエントリー可能人数は設けず 30 名以上を可とし**、各試合までにメンバー用紙を 3 部提出しエントリー規定の確認を行う。5 月の総理杯予選準々決勝(または 2 回戦)・インカレ予選 1 部リーグチームは前日または側近のリーグ戦において 45 分以上出場した選手は不可。  
**前期リーグ内で一度試合に出場した選手やメンバー入りした選手の前期後期間の同一大学間での移籍については、同一大学からの移籍は 7 名までとし、移籍選手の移籍先での出場はピッチ内に 4 名までとする。社会人登録選手の追加登録については制限を設けないが、前期メンバーより大幅にメンバーが入れ替わる事の無いようにモラルの範囲でチーム運営を行うこと。※メンバー表に細部記入欄あり**
- 3) 上記の通りエントリー可能選手は、大会趣旨を理解し TOP チームのサブ選手であることが条件。  
5 月 13 日・14 日・20 日の『総理杯東北予選』・『2017 年度 第 42 回東北地区大学サッカーリーグ』各試合において、【インディペンデンスリーグ東北 2017】の前日に出場時間が **45 分以下の選手が各試合のメンバー入り(20 名)が可能**とする。(45 分以上の選手は試合出場不可)  
但し、GK については 1 名のみエントリーの場合にはスタメン選手及び 45 分以上の出場した選手でも出場を可とする。また、GK が 2 名の場合には 45 分以上出場している場合にはスタメン選手でなくサブ選手としての出場を認める。
- 4) 出場時間の記録については各大学よりメンバー表提出する際に(メンバー用紙参照)、出場時間部分にメンバー入りする選手の出場時間を記入すること。**メンバー表提出する際のリーグ戦記録用紙添付は不要。**メンバー表提出後に主管校で確認作業を行います。不正の無いようお願い致します。
- 5) 参加チームにつき、有資格審判員 3 級以上を 1 名以上、4 級以上を 2 名以上登録すること。最低 2 名は必ず試合会場へ帯同している者とする。大会は 7 回目を迎えますが今後は有資格審判を帯同出来ない場合には大会自体にエントリー出来ないとしていきたい。円滑な運営の為に出来る限りメンバー内の選手で主審と副審を行い、どうしてもメンバー内の選手で登録出来ない場合にはメンバー外選手で同一チーム(同大学内)より派遣すること。同一チーム内(同大学)より審判員を登録出来ない場合には事務局へ必ず報告し、チーム関係者以外の方で大会期間中対応出来る方へお願いし登録すること。審判費の兼ね合いがあることからチーム内で有資格審判員の養成をお願い致します。大会期間中に 3 級審判試験等が各県で実施されると思いますが、取得後は I-League での審判活動をお願い致します。  
**当日の副審担当者が試合に出場し、怪我等で副審を行えないということにならないように調整をお願いします。移動等の兼ね合いで人員確保出来ないことが無いように準備をお願いします。万が一対応不可能な場合には事前に連絡をすること。**  
審判確保が出来ず事務局に依頼する際には、審判依頼費の徴収を検討する。大会参加費とは別途。
- 6) 参加する選手は、『各試合毎にエントリー表(追加登録の際にはその都度事務局へメールと更新されたプリントを持参)』・写真添付された『日本サッカー協会個人登録証』を必ず持参すること。参加資格に疑義のある場合は東北地区大学サッカー連盟(I リーグ事務局)で協議し決定する。

## 9. 大会方式

**2017 年度 前期 ; 第 1 節～第 9 節 ; 10 チーム参加**

**後期 ; 第 10 節～第 18 節 ; 10 チーム参加 \*前期結果をもとに組合せ編成**

10 チーム総当たり 2 回戦を行い順位を決め、優勝チームを決定する。

順位は、勝ち点、得失点、得点、失点の順で順位を確定する。

最終順位が同率の場合には (1 位・2 位)、優勝決定戦を開催する。 ※11 月上旬予定

**リーグ日程 日程表確認 (7 月 16 日試合日再調整あり) \*新人選抜選考会あり**

優勝チームは、11月27日(月)～12月1日(金)に宮城県で行われる全国大会への出場権が与えられる。  
全国大会のエントリー資料は期限の関係から大会期間中にプログラム原稿作成に取り掛かると思われます。

**\*11月上旬** 配布予定。

**\*全国大会の規定は各地域の規定が移行されます。また、『全日本大学サッカー選手権大会出場チームがインディペンデンスリーグ2017全国大会に出場する場合には、両大会における2重登録の規定が別途設けられ、5名まで認められる。』**

## 10. 試合方式

- ① (規則) 競技規則は、現行の(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」に従う。
- ② (時間) 試合時間は90分(45分ハーフ)とし、ハーフタイムは前半終了の笛から後半開始の笛までを15分間とする。

**勝利チームは勝点3、敗戦チームは勝点0、引き分けは両チーム共に勝点1とする。**

**順位決定にあたり、リーグ戦は得失点、得点、失点、当該チーム間の結果、抽選の順で順位を決定する。**

**順位決定戦は試合終了時点で同点だった場合には優勝決定戦を当該チームで行う。**

- ③ (ゲームの成立) 選手は試合開始7分前(ベンチに入っているメンバーのチェックも同時に行う為)に本部前に集合すること。なお、試合開始時間に出場選手が**11名以上**いない場合は、試合放棄したものとみなす。

**\*本部運営・審判等含めて学生主体を大会の位置付けにしておりますので設営開始時間やマッチミーティングの考慮した設定時間までに関係者や選手が揃うことを徹底していきたくと思います。**

- ④ (交代) 選手交代はあらかじめ登録した交代選手最大**9名**の交代要員の中から5名まで認める。
- ⑤ (退場) 試合中、主審により退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。その後の処置はIリーグ事務局及び、東北地区大学サッカー連盟規律委員会に於いて決定する。
- ⑥ (警告) 大会を通じて主審より警告を2回受けた選手は本大会の次の1試合に出場することができない。同一大会で2度出場停止処分を受けた選手は、以降の今大会に出場は認めない。

## 11. 組合せ及び日程

組合せ及び日程は、本リーグ実行委員会において決定する。 \*組合せ別紙参照

## 12. 罰則

出場機会の少なかった選手の出場機会の確保及び選手の育成、審判員の養成など、本大会にあたっての主旨を十分に理解していることを前提とし、以下の場合はその試合は没収され、Iリーグ事務局によって処置を検討する。

- ① チーム全体が試合を放棄した場合
- ② 試合続行を拒否した場合
- ③ 未登録選手を試合に出場させた場合
- ④ その他、大会規定を守らなかった場合

**※審判への度重なる暴言や、会場でのマナーが悪質であると認められた場合は、事務局によって検討する。**

### 13. 表彰

- ・優勝 優勝カップ、表彰状(全日本大学サッカー連盟より)
- ・2位 表彰状(全日本大学サッカー連盟より)
- ・3位 表彰状(全日本大学サッカー連盟より)
- ・得点王・アシスト王：それぞれに表彰状を準備予定(全日本大学サッカー連盟より)
- ・大会 MVP：表彰状と盾を授与する(全日本大学サッカー連盟より)

### 14. エントリーについて

- ・上記の大会主旨を理解し、出場基準に値する選手、審判員をエントリー。**5月18日(木)12:00**まで
- ・第1節～第9節のリーグ参加費は添付の組合せ等調整し**100,000円**とさせていただきますことをご了承願います。第1節分は前年度決算繰り越しにて対応致しております。

振込期限は**6月1日(木)**とさせていただきます。分割希望の際にはお知らせください。

- ・第10節～第18節のリーグ参加費は組合せ等の調整結果により設定させていただきます。

振込期限は開催日等と調整し連絡致します。

後期エントリー表提出は**9月15日(金)12:00**までとさせていただきます。

※前期終了後の移籍については前年度同様とし、**9月3日(日)までに**エントリー表を提出すること

振込先 花巻信用金庫 本店 普通 口座番号 0423385

口座名 インディペンデンスリーグ東北事務局 代表 高鷹雅也(コウタカ マサヤ)

- ・選手の追加登録・削除は東北地区大学サッカー連盟に加盟した選手とする。
- ・**Web申請及び振込手続を試合2日前までに完了し、東北地区大学サッカー連盟より承認を得る。**
- ・ユニホームは(公財)日本サッカー協会「ユニホーム規定」を遵守し、所属地区協会を通じて、(財)日本サッカー協会の承認を得たものに限るとする。  
正副2着以上を登録し、常に携行していなければならない。また、背番号は正副同一番号とする。  
エントリー後の背番号変更は認めない。

**\*背番号は懲罰管理の兼ね合いにより固定制とします(2015年度より継続)**

**\*同大学チームで複数エントリーする際に、ユニホームは各チーム正副2着準備すること。**

**同色でもフィールドプレーヤー全員が同じユニホーム(色・デザイン・メーカー等)で出場すること。練習試合ではないのでモラル・マナーの面で徹底をお願いします。**

### 15. その他

開幕に際しての監督及び代表者会議は特に行わない。

**主管チームは75分前までに本部へ集合し試合運営の準備を行うこと。**

各試合マッチミーティングを**試合開始60分前**に行う。

- ① (メンバー表) 試合開始60分前にメンバー用紙3枚(指定の用紙を自チームで準備、対戦相手用・本部用・自チーム用)と選手証を本部に提出しチェックを受けること。選手証提示のない選手は原則として出場できない。

出場可能選手についてはチーム毎に責任を持って把握しておくように注意すること。

(エントリー選手規定のモラル面注意)

- ② (ユニホーム) 本大会に登録された、必ず異なる色のユニホームを2着(正・副)用意する。

ユニホーム登録後の背番号変更はできない。移籍により番号が入れ替わる可能性はあるが、一度着けた番号が他の選手が着用し試合に出場することは認めない。

③ (ベンチ入り) ベンチは出場選手11名、交代選手9名、監督、コーチ、マネージャー等を含め27名までとする。

④ (運営方法)

・ 試合会場の準備及び運営は、試合会場の担当者の指示により割当てられたチーム(本部担当)が責任持って行う。

第1試合の本部チームは設営、第2試合の本部チームが片付けを協力して行う。

・ 各校のグラウンド及び施設利用については、会場責任者の指示に従い、規則等は必ず厳守する。  
トイレの利用、ゴミの持ち帰りなど十分注意する事。

※ 学生中心の運営になるため、参加各校は基本的なルールを守り、スムーズな運営が出来るように選手間で入念な打ち合わせを行い努力すること。特に、会場の使用、退場・累積警告による出場停止処分、選手間の移動など、スケジュール上、事務局で統括・管理が困難なケースも多々あるので、大会主旨にのっとり、参加チームも紳士的態度でのぞむことを求める。

#### インディペンデンスリーグ東北事務局

東北地区大学サッカー連盟Iリーグ事務局は引続き富士大学に設置させていただきます。

エントリー確認及び大会運営の案内等すべて事務局より発信する予定である。

※ 実行委員会よりメール中心に案内を送信する。

※ 運営委員(学生が望ましい)を各チームより選出して頂き随時連絡の取れる体制を取って頂きたい。

運営委員は、会場責任者(責任者)とともに試合会場運営全般に関わる仕事を担い、各チームのマネジメント等全てに関わる仕事を担う学生が望ましい。

● 2016年度の規定と今年度では一部変更の箇所もあります。毎年総理杯予選・リーグ戦共に運営面でも改善すべき点が多々あります。学生自ら運営面に目を向けてより良い大会になるようご理解ご協力をお願いします。